### 論点提示

## 国立大学のガバナンスをめぐる現状と課題 ーアメリカと日本一

羽田貴史 (東北大学 高等教育開発推進センター)

# 議論のための3つの視点

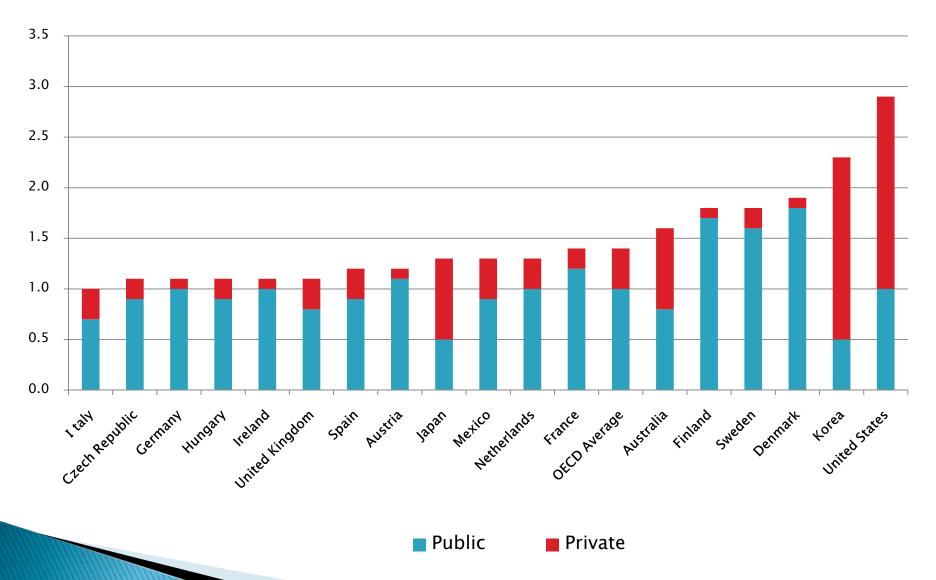
- 大学のガバナンスの目的はなにか、特に国立大学
  - 財政パターンの急速な変化のために、国立大学のガバナンスの目的は、規模の大小を問わず、財源調達と経費削減に焦点化しすぎている。あらためてガバナンスの目的を明確にする必要がある。
- 機関のマネジメントとシステムのありかた
  - ・法人化によって機関の自律性が拡大されたが、機関のマネジメントを最適化するシステムレベルの課題が多い
- 諸外国の高等教育から何を学ぶのか、特にアメリカ
  - 高等教育は各国の文脈に依存して成立している。アメリカの高等教育は、そして日本の高等教育も世界的に特異であり、どの経験を共有するか、吟味が必要である。

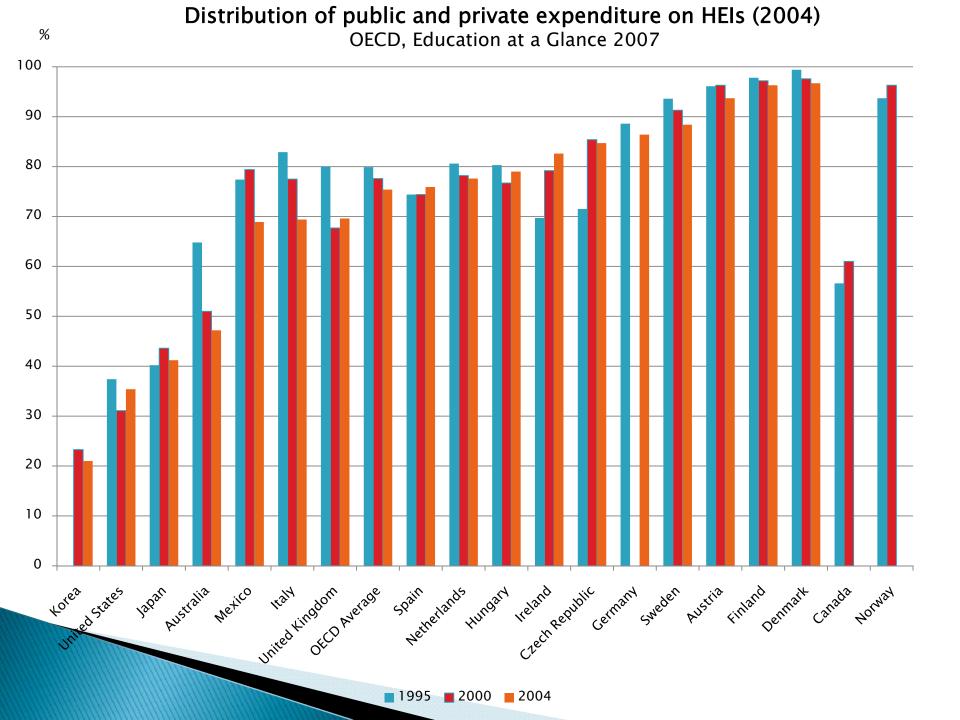
## 1. 公立大学の危機と大学のガバナンス

- 世界的な公立大学の危機?
  - (Stephan Vincent-Lancrin.2007. *The "Crisis" of Public Higher Education: A Comparative Perspective Research & Occasional Paper Series*)
- ▶ 減少しつつあるが高等教育は公的セクターが主流
- ▶ 特異な日本・韓国の高等教育財政構造
- アメリカの公立大学の危機
- 高授業料 高奨学金政策 (High-tuition, high-aid) とランキングがもたらす競争
- 公立大学の役割の変容?
- (Ehrenberg.2006. What's Happening to Public Higher Education? The Shifting Financial Burden.)

### Expenditure on educational Institutions as a percentage of GDP (2004)

OECD, Education at a Glance 2007

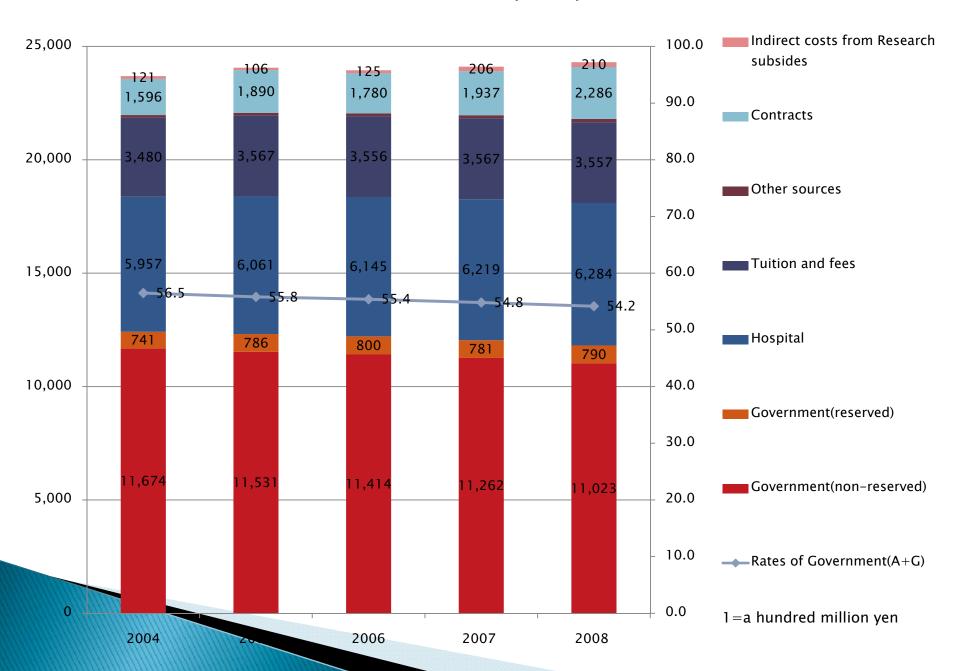


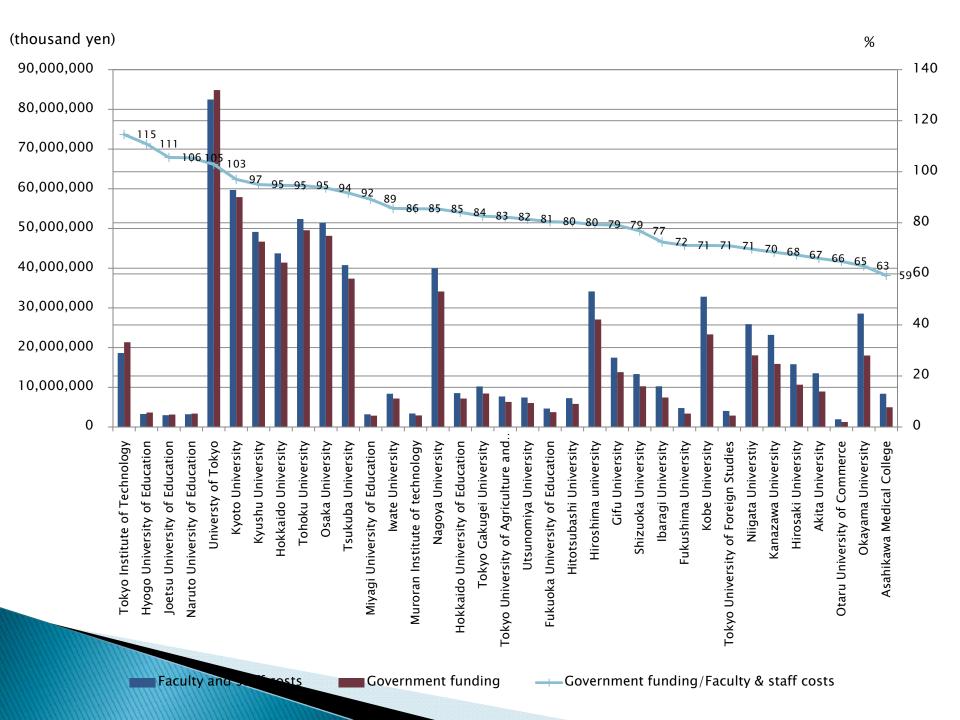


# 2. 国立大学の危機?

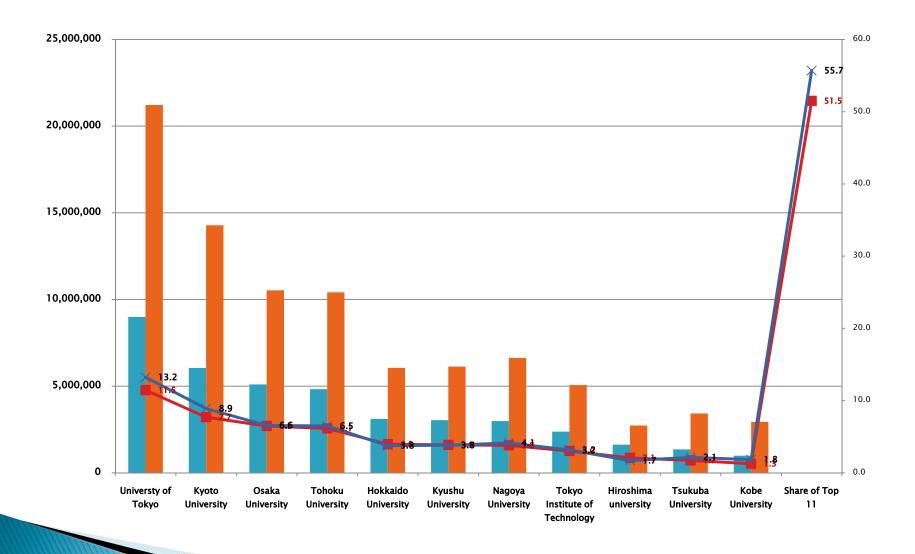
- ▶マクロな財政状況
  - 財源全体は減少していない
  - 公的財源の減少
  - 一般財源の減少と特定財源の増加
  - 一般財源の減少をカバーしきれない間接経費
- ト機関間の格差
  - 人件費をカバーできない運営費交付金
  - •競争的資金の集中化
- 法人化以前の格差を背負った移行
  - ■平等条件をいかに創出するか

#### Sources of Revenue for National University Corporations (2004–2008)





#### Share of Grant-in-Aid for Scientific Research Top 11 National Universities



# 3. 国立大学の公共性とは何か

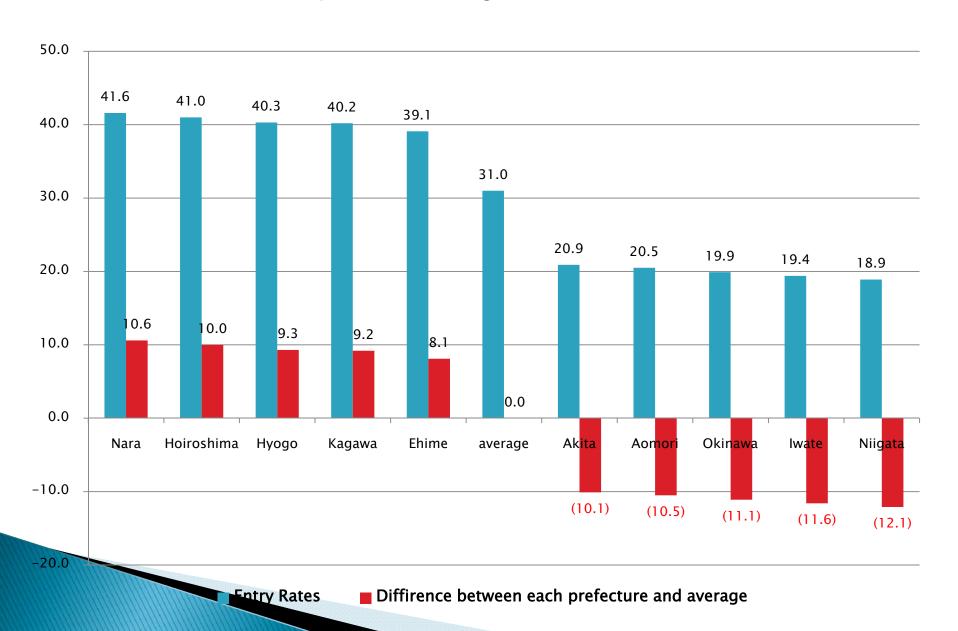
- 多様なアクターの関心と揺らぐ国立大学
- ・国立大学の役割の変化
- ・文教政策の枠内から産業政策,総合国策の基幹装置へ
- 二元的高等教育制度のもとでの逆転現象
  - •大衆化を支えた私立大学の成功
  - ・少子化のもとでの私立大学の異議申し立て
  - ・国立大学の存在意義への懐疑
- 再定義が必要な国立大学の公共性

# 4. 維持すべき国立大学の公共性

- ト高等教育に対する政府の役割
  - owner
  - core funder

- planner
- partner
- customer
- ▶地域的な教育機会の保障
  - まだ大きな高等教育進学の地域格差
- あらゆる所得階層に開かれた高等教育機関
  - 所得格差が進学格差に現れない日本の不思議
  - データの問題
  - ・家族の努力
  - 所得, 学力, 性の複合要因(小林2008)
- 短期的需要を越えた知の探求と再生産

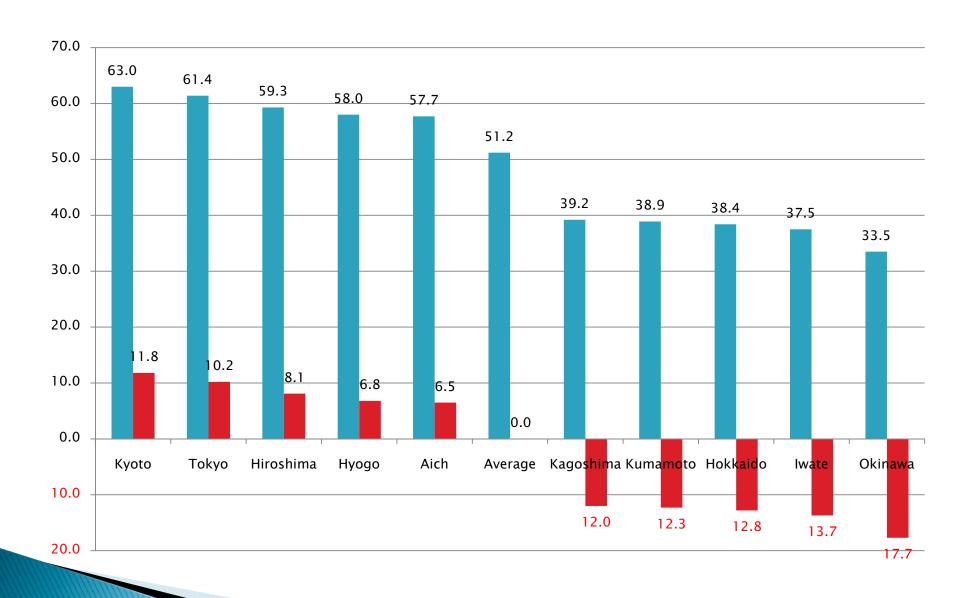
### **Entry rates into Higher Education(1987)**

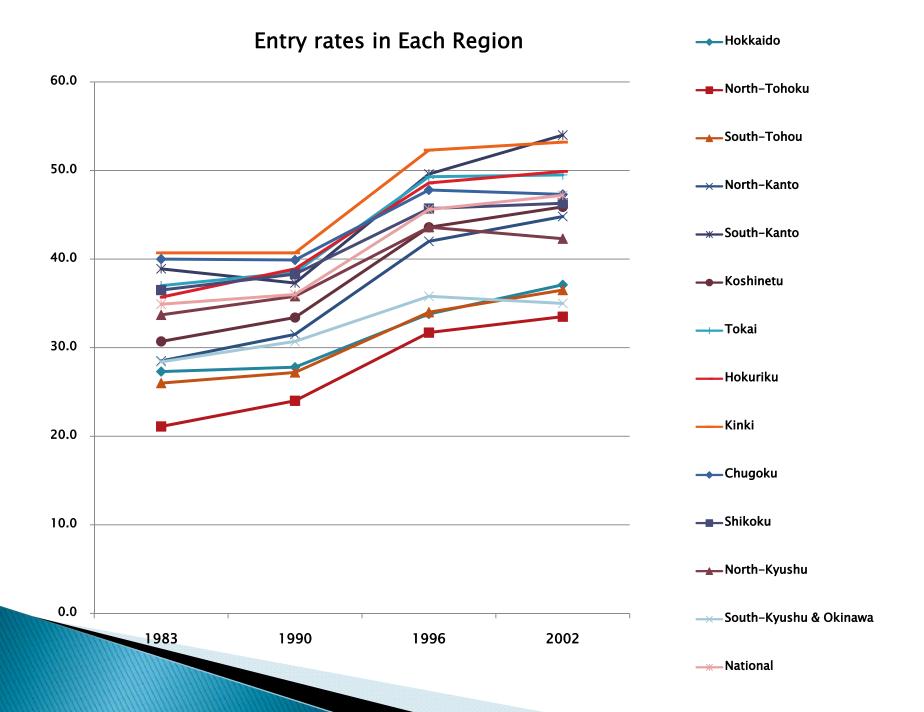


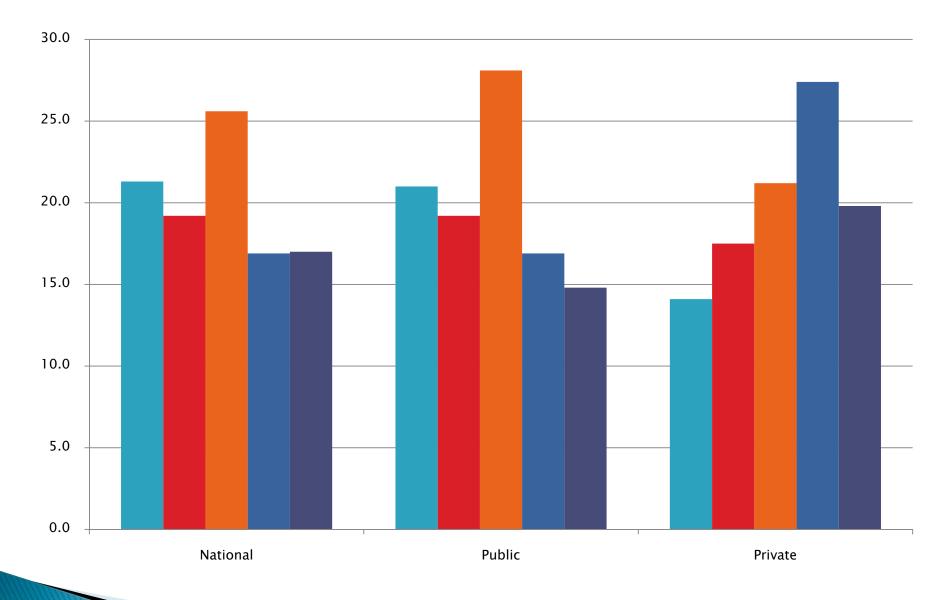
#### **Entry rates into Higher Education(1997)**



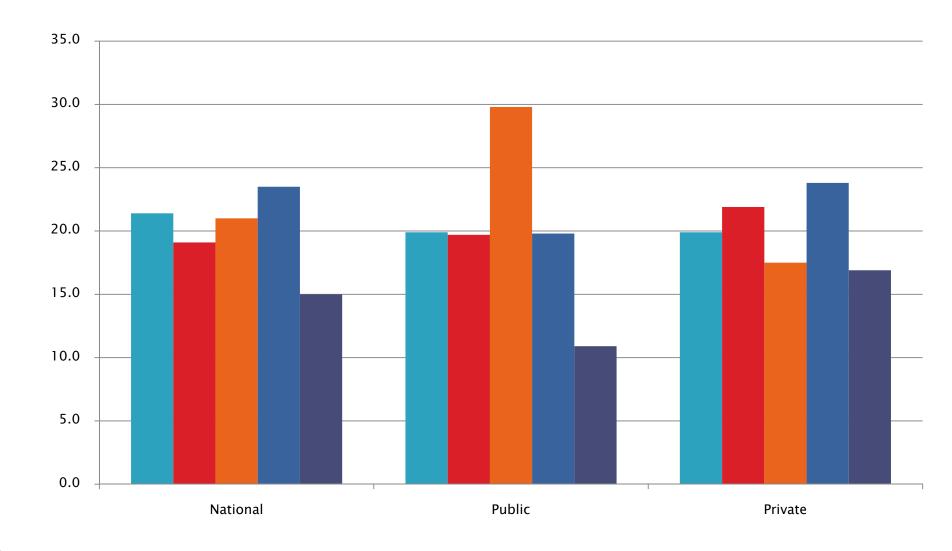
#### **Entry rates into Higher Education(2007)**



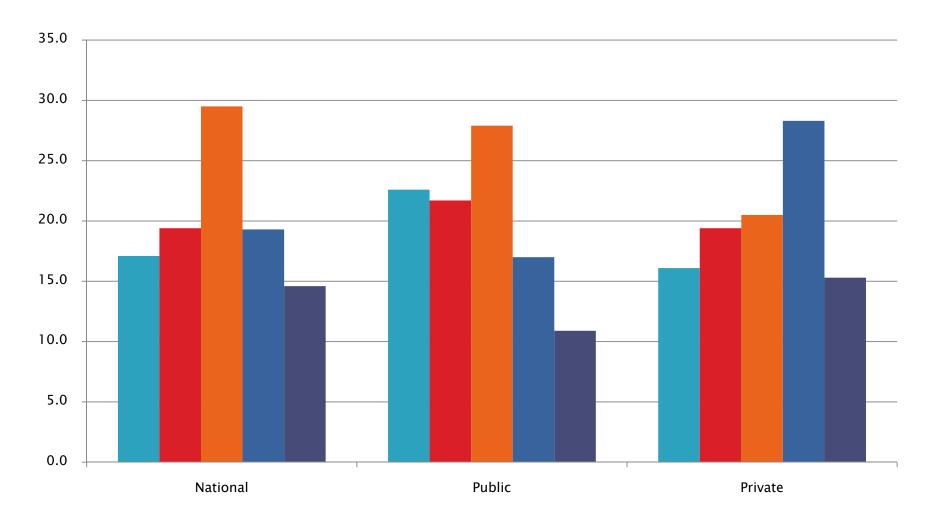


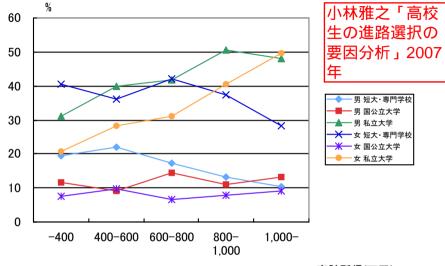


#### Percentage of students between the Income classes (MEXT,2004)



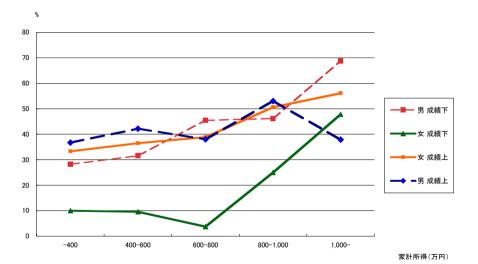
### Percentage of students between the Income classes (JASSO,2006)





家計所得(万円)

(データ)学術創成科研「高校生調査」2005年11月, 2006年3月



(データ)学術創成科研「高校生調査」2005年11月, 2006年3月

地域	設置者	人文	社会	理学	工学	農学	保健	家政	教育	芸術	その他	総定員
JI. ½= ½*	国立	185	905	300	1, 680	720	565		1, 260			5, 615
北海道 (北海道)	公立		300				410			80	240	1, 030
	私立	2, 578	5, 173		1, 700	545	905	240		230	840	12, 211
北東北 (青森, 岩手, 秋田)	国立	560			890	395	481		490		590	3, 406
	公立		390		400	150	90				390	1, 420
(	私立	400	1, 425		490		580	200			70	3, 165
南東北 (宮城,山形,福島)	国立	1, 275	420	509	1, 460	305	539		655		180	5, 343
	公立					120	340				440	900
	私立	685	2, 805		1, 750		1, 190	240	600	161	2, 240	9, 671
ᆘᇜᆂ	国立	635	260	205	1, 400	330	447		1, 020	100	1, 220	5, 617
北関東 (茨城, 栃木, 群馬)	公立	120	900		262		285				60	1, 627
	私立	300	4, 475		650		2, 210	250	500	315	1, 480	10, 180
南関東 (埼玉, 千葉, 東京, 神奈川)	国立	1, 275	2, 932	1, 010	4, 847	1, 065	710	125	2, 095	477	1, 287	15, 823
	公立				270		730				1, 950	2, 950
	私立	33, 314	73, 300	3, 325	20, 193	4, 860	12, 562	5, 104	5, 822	7, 097	41, 490	207, 067
甲信越静 (新潟,山梨,長野,静岡)	国立	860	670	615	2, 005	755	868		840		780	7, 393
	公立	690	260				445	50			180	1, 625
(利何, 山米, 攻封, 肝凹)	私立	420	3, 160		500	120	1, 025	240	300	300	3, 040	9, 105
東海 (岐阜,愛知,三重)	国立	390	355	270	2, 780	595	635		1, 390		175	6, 590
	公立	695	230	70	80		640			195		1, 910
	私立	6, 205	14, 372		2, 780	300	2, 735	2, 292	1, 277	1, 170	6, 635	37, 766
11. 84	国立	355	790	400	1, 349		780		365	115	160	4, 314
北陸 (富山,石川,福井)	公立		200		190	200	160			150		900
(鱼山, 11川, 佃开/	私立	110	980		1, 317		546				1, 630	4, 583
近畿	国立	1, 685	2, 670	851	3, 660	450	1, 113	140	2, 145		730	13, 444
(滋賀,京都,大阪,	公立	710	1, 415	440	1, 182	110	1, 025	123		193	1, 145	6, 343
兵庫, 奈良, 和歌山)	私立	21, 652	37, 370	343	6, 685	620	5, 735	2, 705	2, 320	4, 145	15, 020	96, 595
中国 (鳥取,島根,岡山, 広島,山口)	国立	500	1, 245	590	1, 930	775	1, 350		1, 185		1, 095	8, 670
	公立	230	1,070	210	140		420			170	365	2, 605
	私立	2, 685	4, 089	700	2, 240		2, 531	1, 330	400	490	3, 004	17, 469
四国 (徳島, 香川, 愛媛, 高知)	国立	295	460	495	1, 365	490	854		690		770	5, 419
	公立	80	30				195	60				365
(心局,百川,发媛,同川)	私立	885	1, 925		720		540	735	80	50		4, 935
北九州 (福岡,佐賀,長崎,大分)	国立	160	1, 435	277	2, 731	484	1, 015		920		1, 115	8, 137
	公立	590	1, 040		250		355				380	2, 615
(油画, 在員, 及啊, 八刀)	私立	3, 663	9, 357	240	3, 235		1, 833	1, 140	200	645	2, 915	23, 228
南九州 (熊本,宮崎,鹿児島,沖縄)	国立	170	210	575	1, 688	770	909		925		1, 170	6, 417
	公立	280					180			105	380	945
	私立	1, 405	3, 550		1, 110	460	1, 200	325		190	1, 405	9, 645
全国	国立	8, 345	12, 352	6, 097	27, 785	7, 134	10, 266	265	13, 980	692	9, 272	96, 188
	公立	3, 395	5, 835	720	2, 774	580	5, 275	233	0	893	5, 530	25, 235
	私立	74, 302	161, 981	4, 608	43, 370	6, 905	33, 592	14, 801	11, 499	14, 793	79, 769	445, 620

(出典:『全国大学一覧』(文教協会)から東京大学大学総合教育研究センターが

作成したデータをもとに国大協調査研究部が整理した)

## 5. 公共性を示す指標は何か

- 国際的ランキングという新しい指標
  - •東京大学,東北大学,一橋大学,東京工業大学,慶 応大学•••
- ▶ ランキング指標は公共性を反映するか
  - Peer review score
  - Recruiter review
  - International faculty score
  - International students
  - Faculty/student
  - Citations/faculty

## 6. システム・機関のガバナンスの課題

- ▶ 法人化によって、政府統制は変わったのか?
  - 文部科学省に代わる他省庁の統制強化
  - •さらに必要な制度改革
- 学長・部局長・学科長によって異なるガバナンスの認識

- ト各階層の理想モデル
  - •官僚制;学長•副学長•経営協議会
  - •部局代表制;評議会,全学委員会
  - •部局分権制;教授会
- ・独走する国立大学長 部局・学科との乖離 合意モデルの私立大学で高い戦略の合意

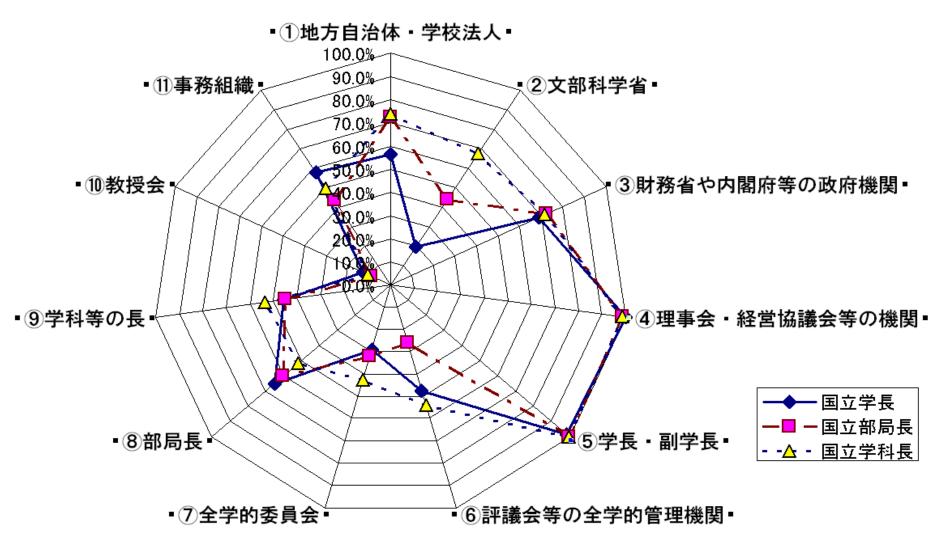
# 7. セクターとしての国立大学

- ト各国の高等教育ガバナンス一高等教育全体の利害を反映するピーク(頂上)団体の結成
  - イギリス(UUK) ・オーストラリア(UA) ・アメリカ(ACE)
- 高等教育団体のグループ化の動き
- ▶ セクターごとに仕切られた日本の大学団体
- ▶ 国立大学協会はサロンから脱却できるか
- 有力国立大学は日本の高等教育にどのような責任を 果たすのか

## 大学の運営モデル

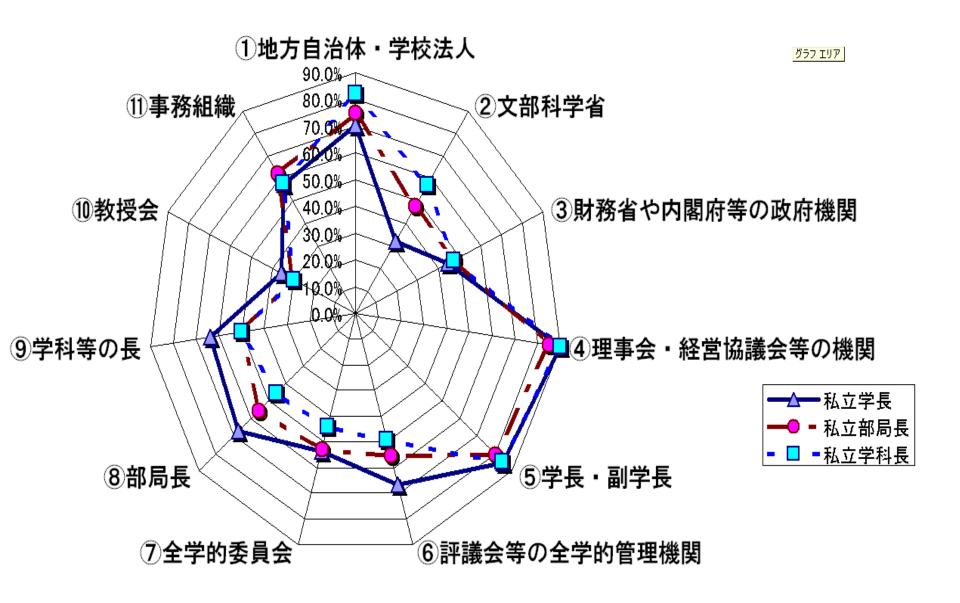
	国立	公立	私立
学長	官僚制	官僚制部局代表制	官僚制 部局代表制 弱い部局分権制
	部局代表制部局分権制	官僚制 弱い部局代表制	官僚制 部局代表制 部局分権制
	部局代表制部局分権制	部局代表制 部局分権制	官僚制 部局代表制 部局分権制
対立	学長》《部局長+学科長	学長+部局長》《学科長	学長;部局長;学科長

### 図1 大学運営で強化されたもの(国立大学)

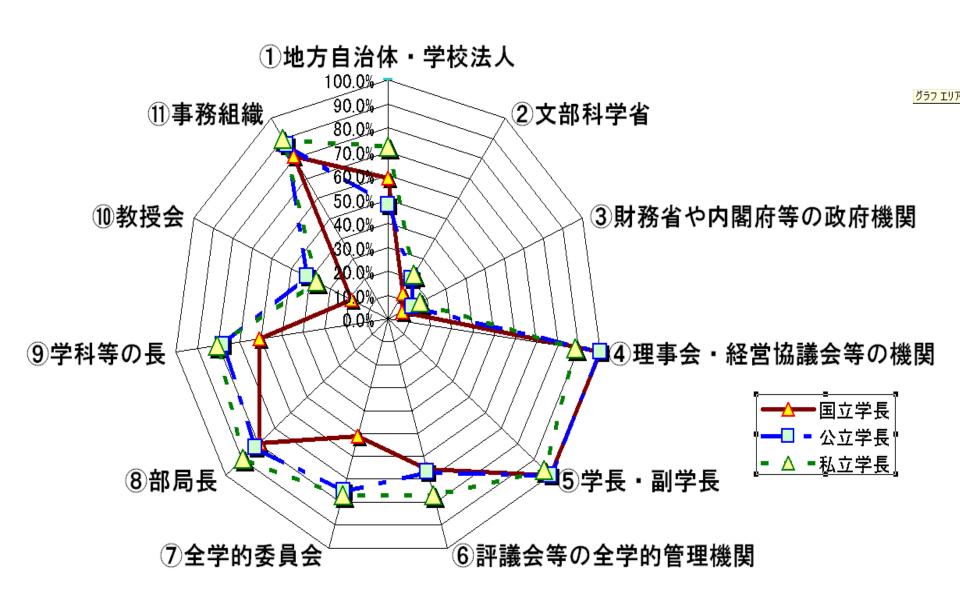


広島大学高等教育開発研究センター『大学の組織変容に関する調査研究』(研究代表 羽田貴史, 2007)

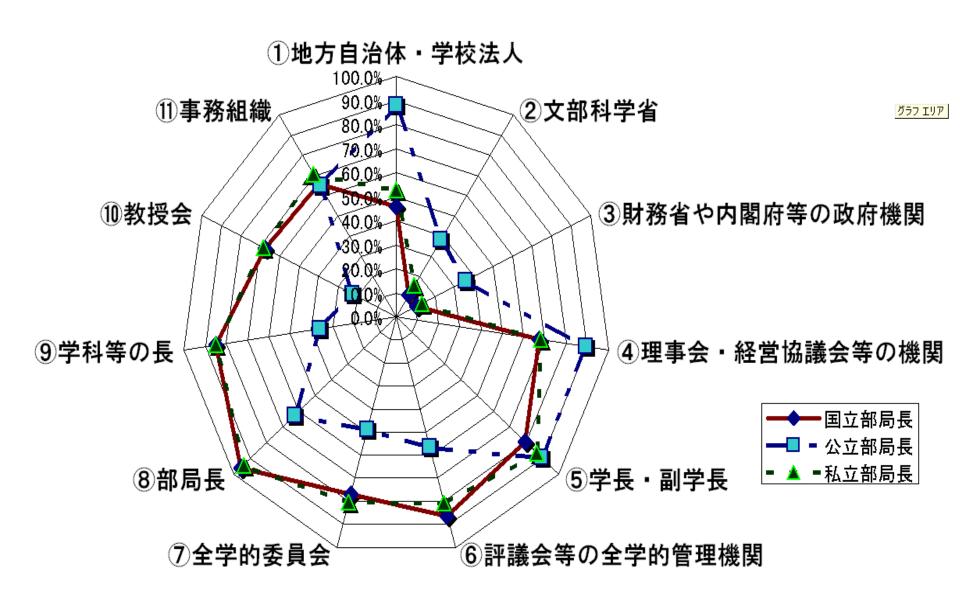
## 図3 大学運営で強くなったもの(私立大学)



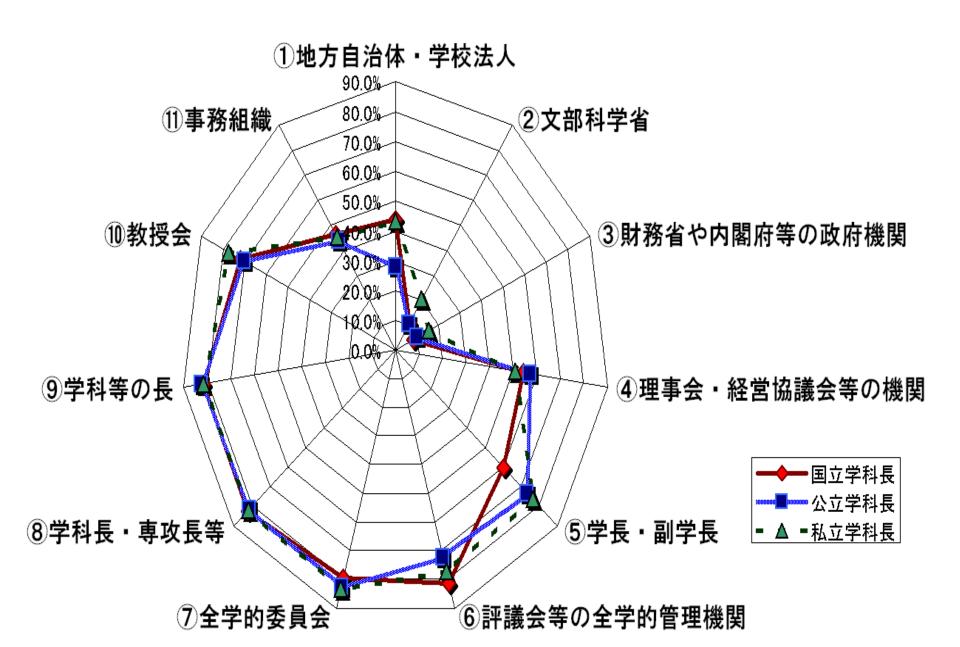
## 図4 強化する主体(学長)



## 図5 強化する主体(部局長)

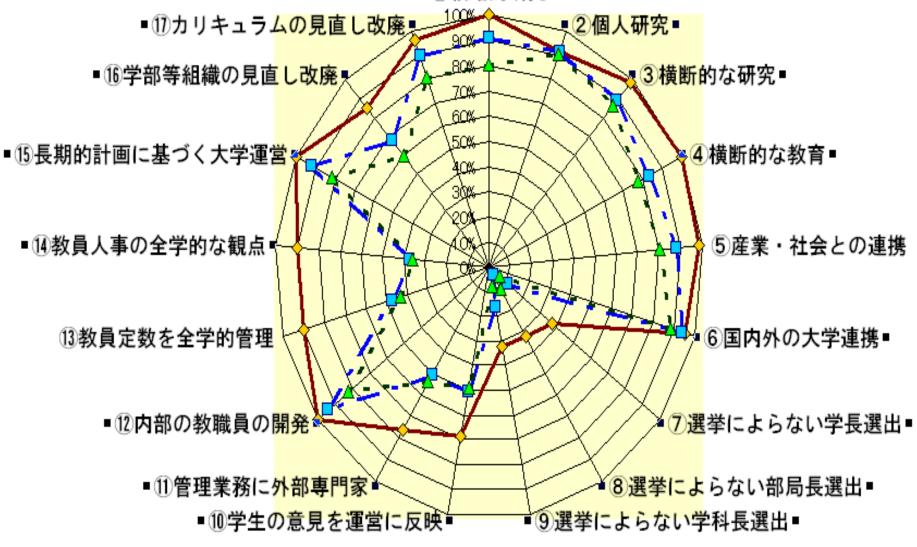


### 図6 強化する主体(学科長)



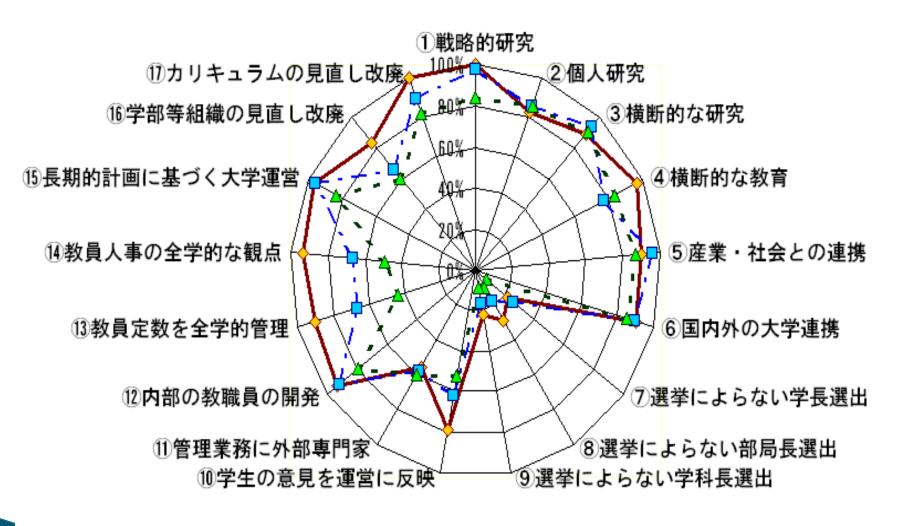
### 図11 大学運営の方向(国立・階層別)

■①戦略的研究■



**──**国立学長 **─□** - 国立部局長 - ▲ - 国立学科長

### 図12 大学運営の方向(公立・階層別)



➡━ 公立学長 ━□ - 公立部局長 - ▲ - 公立学科長

### 図13 大学運営の方向(私立)

